

# 戦没者遺骨収集にご協力を！

事務局長 山越孝雄

2017年5月15日に「戦没者遺骨収集推進法」が制定され、戦没者の遺骨収集が初めて「国の責務」と定められました。

大東亜戦争における硫黄島、沖縄戦などでの戦没者を始め、シベリア抑留戦死者を含む海外戦没者数は約240万人にのぼり、そのうち日本に送還されたのは、約127万柱であり、未帰還のご遺骨が未だ約113万柱もあります。国の命により戦地に赴き、家族として日本のために、日本の将来を信じて尊い生命を捧げられた多くの戦没者に対する慰霊は、国家として極めて重要な義務であり、戦没者のご遺骨を速やかに日本に送還し、国家として感謝の気持ちを含めて慰霊を行うべきであります。

遺骨収集は、「戦没者遺骨収集推進法」の制定以降、国が設立した「(一社)日本戦没者遺骨収集推進協会(推進協)」により行われています。

推進協は、年度の遺骨収集計画に基づき、各遺骨収集事業の都度、協力団体から要員の支援を受け、遺骨収容団を結成し、現地に派遣して遺骨収集事業を行っています。

偕行社は、遺骨収集事業が円滑に行われかつ加速されることを期待して、推進協に積極的に協力していきたいと思っており、その際、推進協からの遺骨収集のための要員の支援要請に対して迅速に対応できるよう、遺骨収集を希望される会員の方々に事前に把握しておきたいと考えています。会員の皆様の遺骨収集事業に対する御理解と御協力をお願いいたします。

ここで、2019年度の推進協の遺骨収集事業の概要を紹介します。遺骨収集団の派遣地域は、旧ソ連・樺太、千島、トラック諸島、ビスマーク・ソロモン諸島、マリアナ諸島、東部ニューギニア、インド、マーシャル諸島、ギンバート諸島、パラオ諸島、ミヤンマー、インドネシア、フィリピン、硫黄島・南西諸島で、派遣回数は合計22回です。各遺骨収集団の人員は6～10名で、派遣期間は15～20日間の予定です。今年度、偕行社は、7月から派遣されています硫黄島遺骨団に会員2名を支援しています。

度、個別に調整させて頂きます。派遣を希望される会員の方は、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、〒及び住所、連絡先(電話番号、メールアドレス)、遺骨収集経験の有無(派遣地域)、希望される派遣地域、連絡先を偕行社事務局まで、連絡してください。

偕行社  
電話 03-3263-0851  
FAX 03-3263-0852  
メールアドレス：  
kaikinfo@mild.ocn.ne.jp

## 靖国神社

### 8月15日の催し

戦没者を追悼し

平和を祈念する日

戦没者慰霊行事に参加を

慰霊・援護委員会

第44回全国戦没者慰霊大祭

英霊にこたえる会 主催

日時 8月15日(木) 9:00開会

場所 靖国神社 拝殿

受付 参集殿前 8:00～8:40

参集殿前に偕行社受付あり。

(玉串料300円を申受けます)